たちばな学び館だより

２０２５年７月号　発行：たちばな学び館・高崎地域生活課

毎月第３日曜日は、「家庭の日」です。
ご家族お揃いで読書はいかがですか。

所在地
〒889-4592
都城市高崎町大牟田 1150 番地１
電話とファックス　0986-45-8181

たちばな学び館は、小さな図書館です。

たちばな学び館は、高崎総合支所２階にあります。
どなたでもお気軽にご利用いただける図書室です。
土曜日・日曜日は、東側の警備員室前出入口をご利用ください。

【休館日】
毎週月曜日、祝日、１２月２９日～１月３日、６月１日～６月１５日

【開館時間】
午前９時30分～午後１時、午後２時～午後５時
（午後１時～午後２時は閉館です。）

【館外貸出】
一度に3冊まで（未返却含む）、期間は2週間です。

宮崎県立図書館・都城市立図書館の本も、
たちばな学び館で予約・返却ができます。

学習スペースを設けます！

日程：７/２３(水)から８/２５(月)の間の平日

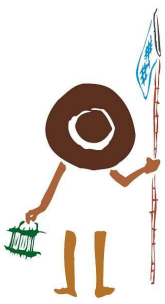
時間：９時～１７時

場所：高崎総合支所１階西側　地域生活課前スペース

※ 座席数に限りがあります。

小　中　学　生　向　け　課　題　図　書

「第 71 回青少年読書感想文全国コンクール」
「第 69 回西日本読書感想画コンクール」図書の一部を揃えています。
※読書感想文・感想画の図書については、貸出期間は１週間です。



新 刊 案 内

『ありか』　瀬尾　まいこ／水鈴社

愛はここにある。幸せはここにいる。

母親との関係に悩みながらも、一人娘ひかりを慈しみ育てるシングルマザーの美空。義弟で同性のことが好きな颯斗は、兄と美空が離婚した後も何かとふたりの世話を焼こうとするが…。

あなたの小さな、でも確かな支えとなる感動の物語。

『交番相談員　百目鬼巴（どうめきともえ）』　長岡　弘樹／文藝春秋

おばさん交番相談員が暴く、警察官たちの闇――

警察を定年退職し、非常勤の「交番相談員」として働いている百目鬼巴。見た目は普通のおばさんで、性格も穏やかだが、彼女には「県警内で大きな影響力を持っている」、「科学捜査の知識を有している」などという妙な噂があった…。連作ミステリー短編集。

『ほどよく孤独に生きてみる』　藤井　英子／サンマーク出版

離れていい。ひとりでもいい。

誰かとうまくかかわるための心地よい「心の守り方」とは？

人間関係も、人の目も情報も「すこし離れている」くらいでちょうどいいのかもしれない。日々、自分の心に目を配り、からだを動かして、人間関係をすこし軽やかにする。

予約が絶えない心療内科医の『近づきすぎない』幸せの秘訣を紹介。

ご紹介本

「 青い壺 新装版 」　有吉 佐和子/文藝春秋

NHK「おはよう日本」などで話題沸騰！

昭和も令和も変わらぬ人間模様、リアルな生活描写を青い壺が絶妙に映し出すエンタメ作―

シングルマザーの苦悩、すれ違う夫婦、相続争いに悩む娘の言葉を聞いてドキリとする親…。人間の奥深く巣食うドロドロした心理を小気味よく、鮮やかに描き出す絶品の 13 話。

他にもたくさん本が入っていますので、お気軽にお越しください♪